

防災ビデオ

お年寄り・障害のある人を守る 防火・防災対策



上映時間 21分
ビデオ版 66,000円
価格は税抜 (C#2723)



東映株式会社 教育映像部

〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-1 ☎03-3535-3631 FAX.03-3535-3632

制作にあたって

一人暮らしのお年寄りや障害のある人にとって、不意に起こる地震や火災はとても不安なものです。また、離れて暮らす家族にとっても、それは日頃からの心配事でしょう。

この作品は、お年寄りや障害のある人にはもちろん、その家族や地域全体の防災に役立つ、最新の有益な情報と心構えを分かりやすく紹介しています。家庭内から地域へ、災害時に必要な備えや工夫について、阪神大震災などの実例を参考に考えていきます。

大切な家族や私たちの町を守るために、どうぞご活用ください。

作品の内容

阪神大震災の被災者が切実に語る証言。そこに見られる高齢者世帯の被害を検証し、心構えと万全な備えについて考えてみる。

■ 家庭内における安全対策

お年寄りや障害のある人にとって、家庭内の思いがけない場所が危険ゾーンとなる。「長く延びた配線コード」「段差のある敷居や玄関」「手すりのない暗い階段」等々。

これらは防災器具を使用することで改善できる。スロープや手すり、転倒防止器具、開閉防止器、飛散防止フィルム、防災カーテンなど、その利用法や効果についても解説。また、壊れかけた場所の修理、プロパンガスのボンベの固定なども行っておく。

特にお年寄りや障害のある人の場合、老眼鏡や常備薬、年金手帳、補聴器、杖などの「ないと困るもの」は、一つにまとめて持ち出しやすいよう、日頃から保管場所を決めておくことが必要だ。

また避難時には、ジャンパーなど動きやすく燃えにくい素材のものを着用する、厚底のスポーツシューズをはく、ヘルメットや頭巾を身につける等々、着衣への気配りも大切だ。

■ 地域での安全対策

地震災害や火災は、お年寄りや障害のある人に特に大きな被害を与える。どこに火災を引き起こす要因があるのかを知るとともに、万が一の場合に備えての防災訓練の重要性を見直す。

地域では、防災センターやお年寄りのための福祉施設、障害のある人のための福祉センターなどが緊急時の避難場所として設置されている。また、政府の中央防災会議によって「地震防災基本計画」が進められており、社会情勢の変化に対応した防災計画の強化を目指している。

お年寄りや耳の不自由な人のためには、ペンダントを押すと最寄りの消防署に通報が入る等の緊急連絡システムが用意されている。その他、ファクシミリによる119番送信等についても紹介する。

■ 安全な避難のために

毎年定期的に行われる地域での消防訓練に積極的に参加して防災知識を身につけることや、最寄りの避難場所と避難ルートを予め確認しておくことも大切だ。

また、いざという時のために、日頃からご近所とのコミュニケーションも大事にしていきたい。

企画・制作…東映株式会社 教育映像部

監修指導…東京理科大学 火災科学研究所長

須川 修身

プロデューサー…古知屋 正裕 脚本…山田 久江

町井 新一 演出…佐野 孝典

制作協力…日本産業映画センター

1999年作品

関東営業所	東京都中央区京橋2-17-1	〒104-0031	☎03-3535-3631
関西営業所	大阪市北区曽根崎新地1-13-22	〒530-0002	☎06-6345-9026
広島出張所	広島市中区国泰寺町1-5-31	〒730-0042	☎082-249-3930
高松出張所	高松市本町11-7	〒760-0032	☎087-851-3766
中部営業所	名古屋市中区錦3-24-3	〒460-0003	☎052-971-0923
九州営業所	福岡市博多区中洲4-3-18	〒810-0801	☎092-262-3101
北海道営業所	札幌市中央区南一条西7-4	〒060-0061	☎011-231-1439

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101